

第29期 (2026年3月期)

決 算 公 告

(2025年 4月 1日 から
2026年 3月 31日 まで)

北九州市八幡区中の原二丁目1番11号

筑紫ファクトリー株式会社

貸 借 対 照 表

(2026年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	395,000	流動負債	743,057
現金及び預金	8,739	買掛金	23,622
売掛金	297,560	未払費用	8,773
原材料	14,288	資産除去債務	4,358
前払費用	520	賞与引当金	3,255
未収金	73,070	工場閉鎖損失引当金	101,518
未収還付法人税等	3	未払金	36,013
立替金	770	未払法人税等	232
仮払金	46	未払消費税等	22,061
		預り金	1,332
		関係会社預り金	541,889
固定資産	270	固定負債	-
有形固定資産	0		
建物	0		
構築物	0		
機械装置	0		
車輛運搬具	0		
工具器具備品	0		
無形固定資産	-		
		負債合計	743,057
		純資産の部	
		株主資本	△347,786
		資本金	45,000
投資その他の資産	270	利益剰余金	△392,786
出資金	150	利益準備金	11,250
差入保証金	120	その他利益剰余金	△404,036
		繰越利益剰余金	△404,036
		純資産合計	△347,786
資産合計	395,270	負債・純資産合計	395,270

(注)記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

注記事項

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産

商品及び製品

先入先出法による原価法
(ただし、販売用食肉は、月別移動平均法による原価法)

仕掛品,原材料及び貯蔵品

月別移動平均法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

(リース資産を除く)

定率法

ただし、1998年4月1日以降取得した建物(建物附属設備を除く)及び、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっております。

無形固定資産

(リース資産を除く)

定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいております。

リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

賞与引当金

従業員賞与の支払に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

工場閉鎖損失引当金

当社は、会社清算に伴う損失に備えるため、合理的に見積られる額を工場閉鎖損失引当金として計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

商品又は製品の販売に係る収益は、主に卸売又は製造等による販売であり、顧客との販売契約に基づいて商品又は製品を引き渡す履行義務を負っております。当該履行義務は、国内販売については、出荷時から当該製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間であるため、商品又は製品の出荷時点において充足されると判断し、出荷時点で収益を認識しております。国外への販売については、輸出の取引条件による在庫の保有に伴うリスクが顧客に移転する時点で収益を認識しております。

当期純損益金額

当期純損失

506,247千円

(注)記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。